

茶園の基盤整備による生産性・経営力の向上に向けた「稼げる未来の茶園セミナー」を開催

基盤整備及び改植を実現した茶生産者等から事例紹介を行うとともに、静岡県、関東農政局及び研究機関からは、生産性・経営力の向上に向けた支援策や取組について説明・提案を行った。

○ 施策分類

地域作物・農地整備事業

○ きっかけ・背景、課題の把握

静岡県では、リーフ茶の消費減少などにより茶業が低迷し、担い手・後継者不足が深刻化している。このため、少ない人数で効率的に稼げる茶園を実現するための土台として「茶園の基盤整備」に焦点を当て、静岡県の農業振興担当と農地(基盤整備)担当の両方を巻き込み、セミナーを共同開催した。

○ 取組の内容

本セミナーでは、静岡県と農政局から茶園整備に関する支援策を説明した後、茶生産者と県農林事務所から、茶園整備により効率的な生産体制を実現した事例を、小規模から大規模まで幅広く紹介した。また農研機構と県の研究機関から茶園整備後に必要となる新品種や、大規模経営を想定した栽培体系について説明した。

○ 効果・成果、今後の方向性

本セミナーには、会場・オンラインあわせて103名が参加した。参加者の満足度は97%で、「規模が異なる事例を聞いて参考になった」「研究部門の話もあり参考になった」などの声が寄せられた。セミナーの動画と資料は静岡県拠点及び静岡県庁HPに掲載した。今後も生産者が前向きに茶生産に取り組めるよう、県と連携し、稼げる茶業に向けた茶関連事業の活用を推進する。



全体討論時の会場風景

セミナーのチラシ

体制図

